

ネイチャー・ウォーク

令和元年 11 月号

2019. 11. 24 発行

(通巻第 311 号)

ECO  SAITAMA 公益財団法人 埼玉県生態系保護協会

〒部会：自然を歩く会

■10月のネイチャー・ウォーク

「秋は来ぬ」～日本の絹の道を歩く～

(JR 八王子みなみ野駅～京王電鉄 多摩境駅)

今回は昨年中止となってしまった「絹の道」を再挑戦しました。
参加者総勢 27 名、昼食場所の鍮水公園で記念撮影です！



本日のネイチャー・ウォークは八王子みなみ野駅からスタート！前回のネイチャー・ウォークでは「八王子みなみ野ってどこ？」なんて声が聞こえましたが、大宮から電車で1時間半近くかかる遠いところにもかかわらず、多くの方が参加してくださいました。



駅を出発して、しばらく歩くと早速ゆるやかなのぼり坂が・・・朝は肌寒い曇り空でしたが、だんだんと晴れ間が広がり、じんわりと汗をかいてきました。色づくケヤキ並木を歩きながら、絹の道を目指します。

のぼり坂を上った先には、本日の難所である150段もの階段が見えてきました。この階段を上らないことには絹の道にはたどり着けません。ガビチョウの声を聴きながら一段、一段上っていきます！



階段の上では八王子市が一望できました！

階段を上った先の大塚山公園はかつての「絹の道」の中継地点でした。絹の道（浜街道）は幕末に横浜港が開港したのに伴い、多摩地域で生産され、海外に輸出する生糸を運ぶために使われました。



ホタルブクロ



資料館をじっくり見学

現在は、開発を免れ、自然の森と昔の面影を残す「絹の道」が大塚山公園から始まります。絹の道の脇には季節外れのホタルブクロが咲いていました。現在の絹の道の終着点は絹の道資料館。資料館スタッフの方に館内を案内してもらい、当時の生糸や養蚕の生産技術について教えて頂きました。絹の歴史を学んだあとは鑓水公園でお昼ご飯です。



今回は1名の方に「Walk（多く）出現認定証」が贈られました。また前回認定証をお渡しした方に副賞をお渡ししました。おめでとうございます！

午後は、鑓水公園からは小山内裏公園を通過して、多摩境駅を目指します。道中にベニソバツルが咲いておりツマグロヒョウモンやツバメシジミなどのチョウが蜜を吸いにやってきました。



今回は約7.5kmのコースでした。
皆さま、お疲れ様でした!!
次回も皆さまにお会いできるのを
楽しみにしております！